



地域の皆様との関わり

私たちは、社会から信頼される企業市民となることをめざし、地域の皆様との関わりを大切にしています。

社会貢献活動

2009年11月に行われた第1回全国一斉ボランティア活動の日「make a CHANGE DAY」では、トヨタグループボランティア連絡会の一員として、市有林の森林整備に参加しました。

また、第7回目を迎えた、当社主催行事「障がい者交流ダーツ大会」は、200名近くの方に参加していただくなど、施設の方々にも楽しんでいただいています。

2010年3月には、中日新聞社会事業団より、『第10回中日福祉ボランティア賞』をいただくことができ、今までの活動が認められたと感謝するとともに、今後の活動の励みとなりました。

「第10回 中日福祉ボランティア賞」(3月)



贈呈式



表彰盾

交通安全

自動車産業を支える企業として、交通安全活動に力を入れており、各職場において早朝の立哨活動、および交通安全啓発活動を行っています。特に2009年度は「安全運転管理モデル事業所」として、ポスター・スローガンの募集や通勤時の交通ヒヤリマップの展開等交通事故低減に取り組んできました。

また、9月の秋の交通安全県民運動の立哨では役員も参加し、交通安全に注力しています。



上田社長が参加しての交通立哨(9月)

地域交流


自治区懇談会

地域住民の方とのより良い関係づくりのために、各工場ごとに毎年1回、近隣自治区の代表者を当社へお招きし、当社が取り組んでいる環境活動の説明と地域の皆様との意見交換を行っています。



幸海工場の自治区懇談会(6月)

□ 担当者の声



社会福祉団体への諸活動に対して、自主的に参加して下さる方がまだまだ少なく、苦労しております。一人でも多くの従業員の理解を得て、少しでも多くの方の支援ができるよう努めていきます。

総務部
西口 ひとみ

□ 担当者の声



私の思いは「交通事故は絶対“0”になる」ということです。自動車の安全装備の充実、道路環境の充実、交通安全教育の充実。そして私たちドライバーが『交通ルール・交通マナーを守る』ことを一人ひとりが認識し、実行することによって交通事故は“0”になると信じています。私たち、自動車産業に携わる者として悲惨な交通事故がなくなることを願い、活動に取り組んでいます。

総務部
高松 勇治

地域行事

地域との交流を図るため、当社主催行事(夏祭り・大豊祭)に地域の方々に参加していただいております。



第24回大豊祭(11月)